

池田ロータリークラブ週報

2020年9月2日〈3175例会〉 No.3176

国際ロータリーのテーマ
ロータリーは機会の扉を開く
(Rotary Opens Opportunities)
2660 地区のテーマ
BACK, To the FUTURE
(～基本に戻って、未来へ～)
池田ロータリークラブのテーマ
Together Everyone!
(～素晴らしい出会いを求めて～)



ロータリーは機会の扉を開く

例会日 毎週水曜日 12:30～13:30
例会場 池田商工会議所 2F
創立 1954年4月24日
事務局 〒563-0025
大阪府池田市城南 1-1-1
池田商工会議所 2F
TEL (072)752-3355
FAX (072)752-7800
ホームページ: ikeda-rc.com
E-mail アドレス
ikeda-rc@amber.plala.or.jp

2020～2021 年度 R I 会長ボルガー・クナーク RI 第 2660 地区ガバナー簡 仁一 ■会長 奥村 勝彦 ■副会長 鶴原 英生
■副会長 吉岡 崇 ■幹事 北林 寛崇 ■副幹事 南 みどり ■親睦委員長 暮部 光昭 ■広報・会報担当 永田 大介

2020-21 年度 会長 奥村 勝彦

毎日、暑い日が続き、一雨欲しいところですが、降れば降ったで洪水騒ぎになるなど中々「ええ具合」にはいかないようです。先週の日曜日の夕方、高槻では猛烈な雷雨がありました。「いなずま」もしていたように思います。家内の買い物のアッシーくんをしまして車の中で、その状況を見ていたのですが、ふと新聞のコラムの記事を思い出しました。それは万葉集の研究者で元号の「令和」の発案者と言われている中西進さんの記事ですが、それによるといなずまは現代語では「稲の妻」と書きますが、古文の世界では「夫」という字も「つま」と読み、この場合は「稲の夫」の意味を表すのだと述べています。すなわち、稲は稲妻をうけて結実すると信じられていたというわけです。

また、一方科学的にも雷の放電により空気中から窒素が放出されてそれが田んぼに取り込まれ肥料になり稲を豊かにするということから雷光を「いなずま」というようになったのではないかと書いていました。改めて漢字には深い意味があるものだと感じいった次第です。しかし、くれぐれも雷には注意しましょう。これも見えませんから!!



開会・点鐘
ロータリーソング
ゲスト&ビジター紹介
出席報告
会長挨拶
幹事報告
委員会報告
ニコニコBOX
本日の卓話

本日の卓話

「PCR 検査ならぬ
アルコール体質検査を
受けてみました」

卓話者:山口 正之 会員

❖ ニコニコ BOX ❖

プログラム担当：橋本 昌也 会員
ニコニコ 担当：幸田 伸明 会員

- 奥村 勝彦会長：先日のゴルフコンペでブービー賞をいただきました。美味しいシャインマスカットでした。
- 吉岡 崇会員：ゴルフ同好会永田幹事、ご苦労様でした。暑い中、特に徳永、橘高両先輩ご苦労様でした。
- 鶴原 英生会員：ゴルフコンペ参加して。
- 田中 孝史会員：欠席のお詫び。
- 宮田 雅章会員：初めての卓話です。よろしくお願ひ致します。
- 木平 朝子会員：先日、18日、19日の母の葬儀の節には、皆様にお世話になり、ありがとうございました。
- 田村 大輔会員：8月20日池田ロータリークラブ同好会ゴルフにて初出場で初優勝させていただきました。ありがとうございます。

❖ 前回の卓話 ❖



「自社についての紹介」
卓話者：宮田 雅章 会員

これから私の勤務している会社、ダイハツビジネスサポートセンター（略称：DBC）の主な取り組みについてお話しさせていただきます。

今日、お話しする資料は、外部のプレゼン用の資料を寄せ集めたものなので、良いことばかりお話ししましたので、話、1/3どころか、1/10位でお聞きいただけましたら幸いです。

まず、本社の所在地は、池田市満寿美町2番25号で、2019年1月に移転・竣工し、マスマシ壮のとなりとなりで、マンションとマンションの間に挟まれています。もともとダイハツの保健センターがあったところで、土地はダイハツで建物はDBCのものです。創立は、1961年3月で、来年3月に60周年（還暦）となります。従業員は、800名で、そのうち半分の400名が女性という、大変女性比率の高い会社です。沿革は、（株）九州ダイハツモーターズという、九州地区の販売店の不動産を管理する会社からスタートしました。（株）九州ダイハツモーターズが、ダイハツライフネットという、ディーラー営業や保険を取り扱う会社へと社名が変わり、関西ビルサービスというビルメンの会社と、ダイハツテクナーという開発設計の会社の3つの会社が、2014年5月に経営統合し、現在のダイハツビジネスサポートセンターとなりました。



池田RCのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

大変業態が広く他の自動車メーカーの子会社なら、5～6社分位の範囲を担当しています。ダイハツライフネットからは、過去に、森下さんや木村さんが池田ロータリーに参加させていただいておりました。

このように、全く業態の違う会社が一つになりましたので、人事制度や給与、経理のシステムの統合などに大変苦労しました。それ以上に、人心の融合や旧会社間の交流などに苦労しました。5年以上たった現在でも、まだ、更に改善を図っている最中です。

DBCのコーポレートスローガンは、「ありがとうをいっぱい集める」であり、そのために、関連するステークスホルダーには誠意をもって接していくよう社員一同心がけております。

DBCの事業ですが、①販売会社向けノベルティーの企画・販売、②車両やアクセサリーカタログの印刷、③各社保険や旅行などの取り扱い、④カー用品の企画・開発・販売、⑤ITサービス事業、⑥エンジニアリングサービス事業、⑦コールセンター運営や、技術書の編纂、⑧清掃・警備・寮の運営管理、⑨ダイハツ車の博物館のHWワールドや、クレハクラブ、ラコンテ有馬の運営、⑩企業内保育園の運営などを行っています。カー用品は、ダイハツの一次サプライヤーとして、企画プロデュース、開発、供給まで一気通貫で行っています。この事業は、旧ディーラー営業の会社と、開発設計会社と一緒になったことによりシナジー効果として新たに開始した事業です。

皆さん、今年の7月から発売開始した、ダイハツの「T A F T」という車をご存じでしょうか？CMでうるさいほど「Light You Up」から始まり青空が広がりながら車両が走りぬけていくのを放映しており、ナレーションは千鳥が行っています。このアウトドアのクルマの「フードガーニッシュ」や「バックドアガーニッシュ」もDBCで開発・販売しており、CM効果もあって大変好調です。

さらに、新しい変わったカー用品領域として、2年前から「初音ミク」（バーチャルのボーカロイドアイドル）とタイアップした、初音ミク仕様の「ムーヴキャンパス

（デカール）」の販売や、初音ミク関連のカー用品やアクセサリーの開発販売を行っています。初音ミクは、国内外に大変根強いファンがいて、東京の幕張メッセで開催される「マジカルミライ」というイベントには、5万人以上の来場があり、そのイベントで、初音ミク仕様の「ムーヴキャンパス」の展示や関連のカー用品やアクセサリーの開発販売を行います。イベントに出展し、商品を販売し、SNSで発信して貰うという、新しいアプローチでのダイハツと初音ミクファンのお客様との絆を作る試みです。

また、去年は、「MARVEL」とタイアップした、スパイダーマン仕様の「タント」を東京モーターショーに出展しました。モーターショーも昨年から、「未来車両」や一方で「カジュアル」な雰囲気のものに変わってきましたので、スパイダーマン仕様の「タント」も多少、話題となりました。このように自動車メーカーではなかなか直接行うことが出来ないような遊び心のある面白いことにもチャレンジしています。

話は変わりますが、DBCの事務仕事におきまして、生産性向上への取り組みとして、RPA（Robotic Process Automatiou）というソフトウェアのロボットでのデスクワーク（主に手定型作業）の業務自動化にも取り組んでいます。「業務一覧」→「概略業務フロー」→「詳細業務フローマニュアル」を作成し、「業務整流化」を図ってから、RPA（ソフトウェア）を導入するという大変地道な作業ですが、社員を職場から一定時間離れてもらい時間を捻出し、集中して改善に取り組むという、活動を継続しています。

また、オフィスのフロアの掃除は、「ルンバ他」のロボットで実施しており、高所の窓拭きも「ロボット」を活用するという試みも行っています。

次に、昨年1月に竣工した、DBCの新本社について説明させていただきます。新社屋建設にあたり様々な制約がありました。具体的には、「敷地面積（建ぺい率）」・「階数（5階以下）」・「収容人数（300人以上）」・「予算」・「保育所の屋内併設」という条件です。

池田RCのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

これは、ダイハツが軽自動車を開発するのと同じ制約（※軽自動車は、660CC以下、縦・横・高さのサイズ規制あり）の中で、より高性能・高品質・低価格の車両を開発するのと同じ発想です。この発想を取り入れ、逆算方式でより充実した機能を収容し、働きやすいオフィスを作っていました。具体的には、業務の特性に応じて最適なスペースとするために、各階毎のコンセプトとドレスコードを設定しました。

1Fは、「ロビー」と裏側は「保育園」、2Fは「Quick Café」というスピードコミュニケーションスペース、3Fは「LinQ Plaza」というわいがやスペース、4Fは、「Deep Forest」という集中スペース。5Fは、「Factory」というテクニカルコミュニケーションスペースとしました。席は、フロアを超えて完全フリーアドレスです。このような苦労と工夫を行いましたので、せつ々しくなので、昨年、日経ニューオフィス賞の受賞にエントリーしました。まず書類審査を通過（1/2）し、現地審査が9名の審査員により行われ、そして、昨年、2019年 第32回日経ニューオフィス賞近畿ニューオフィス推進賞を受賞することができました。廊下など無駄の無いスペース、会議室の少ない効率的な仕事のやりかた、女性に配慮した空調やトイレの工夫、そしてオフィス内での企業内保育園の運営などが評価されました。

最後に、弊社が、運営の主体の企業内保育園についてご説明させていただきます。園の名前は、約1000件の応募の中から審査し、「だいはつのもり保育園」としました。受入対象年齢は、生後57日以降～3歳を過ぎた3月31日までです。なるべく早く職場復帰できるように生後57日からという早い時期から受け入れを可能にしました。

また、給食は、自園での調理とし、離乳食から普通食、そしてアレルギー対応なども実施しています。絵本や玩具は、ダイハツ関係者やダイハツOBに寄贈して頂いたり、作成して貰うなど手作り感も込めました。また、おやつは、早朝、昼食、午後、延長保育時の夕食にまで対応します。

イベントは、昨年初めての経験でしたが、毎月の誕生日会や季節イベント、そして、運動会、ハロウィン、クリスマス会なども手探りで実施しました。

最後にですが、DBCには、色々なスポーツ経験者や趣味を持つ社員がいて、いくつかのサークル活動も始めました。池田の体育館で、バドミントンやフットサルを行ったり、ランニングや料理教室などのサークルも活動しています。とにかく、部門間の交流や一体感の醸成などが重要な課題だと思っており様々な事を行っています。以上、大変雑駁な話となりましたが、ご興味がありましたら是非見学にお越しください。



池田RCのテーマ「Together Everyone!～素晴らしい出会い（機会）を求めて～」

9月スケジュール

2	水	3175 回例会
9	水	3176 回例会
16	水	3177 回例会
23	水	休会（祝日週）
30	水	休会（第5週）



「我等の生業」

我等の生業さまざまなれど
 集いて図る心はひとつ
 求むるところは平和親睦
 力むるところは向上奉仕
 おゝロータリー
 我等の集い



ポリオプラス基金	
8月19日時点累計	3,021 円
8月26日分	844 円
累計	3,865 円

義捐金BOX	
8月19日時点累計	125,444 円
8月26日分	971 円
累計	126,415 円

ニコニコ箱の累計	
8月26日現在	291,000 円

9月9日（水）例会
卓話の題：「台湾のこと」
卓話者：奥村 勝彦 会長